

2021年2月8日

各位

会社名 株式会社 ブイキューブ
 代表者名 代表取締役社長 間下 直晃
 (コード番号: 3681 東証第一部)
 問合せ先 CFO 経営企画本部長 山本 一輝
 (TEL. 03-5475-7250)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は2020年12月期において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2020年11月9日に公表いたしました通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。なお、2020年12月期の通期決算発表は2021年2月12日(金)15時半を予定しております。

記

1. 特別損失の内容

当社は東南アジアでのオンライン教育事業の展開を見据え、2020年4月にシンガポール・インドネシア・ラオス・インドで教育ビジネスを展開する Aedno International 社へ出資し、資本業務提携いたしました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う事業環境の急激な変化を踏まえて将来の回収可能性を保守的に判断した結果、本件の出資の減損処理により投資有価証券評価損 128 百万円を計上することといたしました。

2. 2020年12月期通期連結業績予想の修正(2020年1月1日~2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	7,900	900	860	1,000	41円35銭
今回修正予想(B)	8,280	1,040	1,020	1,130	46円67銭
増減額(B-A)	380	140	160	130	
増減率(%)	4.8	15.6	18.6	13.0	
(参考)前期実績 (2019年12月期)	6,369	△284	△341	34	1円43銭

(注) 今回修正予想(B)において、1株当たり当期純利益は2020年12月末時点の発行済株式総数を用いて算出しております。

(修正の理由)

2020年11月9日に公表いたしました業績予想の上方修正後も、サービス提供体制のキャパシティ不足への対応となる採用活動の順調な進捗や、想定を上回る提供単価の実現により、当社のイベントDX事業の成長が加速した結果、2020年12月期の通期連結売上高は8,280百万円となる見込みです。なお、上述のイベントDX事業の伸長を踏まえ、2021年度以降の更なる成長を見据えた人材採用及び機材調達の先行投資、士気向上の為にインセンティブ支給を含む社内還元を行ったことにより、営業利益1,040百万円、経常利益は1,020百万円となる見込みです。

また、上述 1. の特別損失を計上したものの、イベント DX 事業拡大による売上・営業利益の上振れ、更にはこの成長に基づく繰延税金資産の回収可能性の見直しによる利益計上を行う見込みです。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は 1,130 百万円となる見込みです。

以 上